

施策マネジメントシート

基本施策名	06文化・芸術活動の推進と歴史・文化遺産の適切な保護	施策 統括課	生涯学習課	氏名	井田 隆太
政策名	3文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	公民館		

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか)＊人や自然資源等

市民

② 施策の目的

文化・芸術活動のしやすい環境が整備され、市民が文化・芸術活動に親しむことができるとともに、市内の歴史・文化遺産が守られ、活用されるまちを目指します。

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

④ 成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%
イ くにたち市民芸術小ホールの利用者数	人
ウ 過去1年間に文化・芸術活動を行った市民の割合	%
2 ア 国立市が「文化的なまち」だと思う割合	%
イ 市または教育委員会の後援を受けて実施された文化・芸術イベントの数	件
3 ア 過去1年間で市内の歴史・文化遺産に訪れたことがある市民の割合	%
イ 市内の歴史・文化遺産を地域の資源として活用されていると思う市民の割合	%
4 ア	
イ	

2 第2次基本計画期間(令和2～令和9年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 文化・芸術を育める環境整備	市民の自主的な文化・芸術活動を促進するとともに、新たな支援を行うことで、文化・芸術を育む環境の整備を推進します。また、未来を担う子どもたちへ文化・芸術、地域の伝統文化に触れる機会を提供し、その環境の確保を図ることで、感受性と創造性を豊かにするとともに、地域への愛着が育まれるまちを目指します。	◆市民が文化・芸術に関心を持つことができるよう、積極的に情報発信します。 ◆くにたち文化・スポーツ振興財団や学校のほか、ギャラリー等を含む芸術活動に関連する様々な市民団体等との連携により、市民が身近に芸術に触れあう場を提供します。 ◆市民・団体が文化・芸術活動や発表、交流等を行いやすい場・機会を提供します。 ◆子どもや青少年に向け、さまざまな文化や芸術を体験するプログラムを提供します。
2 文化・芸術を通じたにぎわい溢れるまちづくり	魅力溢れる文化芸術活動を行っているさまざまな主体との連携、協働した取組により文化と芸術を通じ、地域や世代間の交流を深め、「つながり」を醸成していきます。また、あらゆる人々へ文化や芸術を届けられるような活動や、異なる文化に触れあう機会を提供することで、市全体で「にぎわいあふれるまち」を目指します。	◆くにたち文化・スポーツ振興財団との共催による文化芸術事業など、まちを活かした芸術活動の場を提供します。 ◆アウトリーチ事業によるアーティストが市内で行う文化芸術活動を支援します。 ◆他の施策において、文化や芸術の要素を取り入れた事業展開を推進します。 ◆だれもが文化や芸術とつながる機会の充実を推進します。
3 歴史・文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承	市内の貴重な歴史・文化遺産、伝統民俗芸能を大切に守り、子どもたちの郷土についての理解を深め、郷土愛を醸成していくとともに、観光や地域振興につなげていきます。	◆継承すべき文化財を指定・登録するとともに適切に保存します。 ◆文化財等を子どもたちの学習活用等で次世代への継承を図るとともに、市民が文化財に親しみ、市の歴史に触れることができる環境を整備します。 ◆歴史・文化遺産の活用においては、再築された旧国立駅舎や寄贈を受け解体復元事業を進めている旧本田家住宅の文化財的価値や国立市史における歴史的重要性を発信するとともに、他の文化財と合わせて面的に活用し、回遊性の創出やまちの活性化にも寄与するとともに、市民が国立市に強い誇りと愛着を感じられるよう、方法を工夫します。 ◆くにたち郷土文化館や古民家を利用した行事で、獅子舞などの貴重な伝統民俗芸能を実演(披露)し、継承に向けた取組を進めます。
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

		単位	数値区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
対象指標	ア	人	見込み値									目標達成度		
			実績値	76,282	76,423	76,278	75,816	76,163						
		イ	見込み値										達成・ 未達成	前年度 比較
			実績値											
	ウ	見込み値												
実績値														
エ	見込み値													
			実績値											
成果指標	展開 方向 1	ア	%	成り行き値								未達成	維持	
				目標値	56.0	57.0	58.0	59.0	59.25	59.5	59.75			60.0
			実績値	34.6	38.2		44.3	44.3						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民 出典元:国立市民意識調査									
		イ	人	成り行き値									未達成	向上
				目標値	67,000	68,000	69,000	70,000	70,250	70,500	70,750	71,000		
			実績値	22,388	32,076	48,823	52,767	53,077						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		くにたち市民芸術小ホールの利用者数 出典元:くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書									
		ウ	%	成り行き値									達成	低下
				目標値	24.0	25.0	26.0	27.0	27.25	27.5	27.75	28.0		
			実績値	17.7	18.7		31.8	28.8						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		過去1年間に文化・芸術活動を行った市民の割合 出典元:国立市市民意識調査									
	展開 方向 2	ア	%	成り行き値								未達成	低下	
				目標値	63.0	65.0	67.0	69.0	69.5	70.0	70.5			71.0
			実績値	63.1	63.1		68.0	62.3						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市が「文化的なまち」だと思う割合 出典元:国立市市民意識調査									
		イ	件	成り行き値										
				目標値	53	55	57	59	62	64	67	69		
			実績値	17	31	31	36	確認中						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		市または教育委員会の後援を受けて実施された文化・芸術イベントの数									
		ア	%	成り行き値									達成	向上
				目標値	63.0	64.0	65.0	66.0	66.25	66.5	66.75	67.0		
			実績値	63.3	67.2		66.3	69.1						
			基本計画における 指標の説明又は出典元		過去1年間で市内の歴史・文化遺産に訪れたことがある市民の割合 出典元:国立市市民意識調査									
	イ	%	成り行き値									未達成	向上	
			目標値	34.0	35.0	36.0	37.0	37.25	37.5	37.75	38.0			
		実績値	30.9	33.0		35.6	36.2							
		基本計画における 指標の説明又は出典元		市内の歴史・文化遺産を地域の資源として活用されていると思う市民の割合 出典元:国立市市民意識調査										
ア		成り行き値												
		目標値												
	実績値													
	基本計画における 指標の説明又は出典元													
イ		成り行き値												
		目標値												
	実績値													
	基本計画における 指標の説明又は出典元													
事務事業数				本数										
施策 コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円										
			都道府県支出金	千円										
			地方債	千円										
			その他	千円										
			一般財源	千円										
	人件費		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			延べ業務時間	時間										
			人件費計 (B)	千円										
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

4 施策の成果指標実績値に対する評価

(1) 施策全体の成果実績目標達成度 A(高度に達成)～E(ほぼ未達成)

C:一部の成果指標について目標を達成した

(2) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

(3) 上記(1)(2)の理由・背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

ここ数年、新型コロナウイルスの影響を受け活動が控えられていたものが年々戻ってきており、数値が伸びたと考えられる。
また、展開方向3アの指標については、旧国立駅舎が多数活用されていることや、旧本田家住宅の解体復原事業影響を受け、高めの数値となっていることが予想される。

5 施策の現状 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

国においては、平成29年に「文化芸術振興基本法」が改正され、文化芸術そのものの振興に加え、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等文化芸術に関連する分野の施策についても法律の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を、文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことの重要性が明らかにされた。また、令和5年3月に「文化芸術基本計画(第2期)」が策定された。

都においては、令和4年3月に「東京文化戦略2030」が策定された。2040年代の東京の姿(将来像)として、「芸術文化で躍動する都市東京」が示されている。

国立市では、文化芸術施策の推進に向けては、基本理念を明確にし、市民にとって文化と芸術をいっそう身近なものとするとともに、「文化と芸術が香るまちくにたち」を実現するため平成30年4月に「国立市文化芸術条例」を施行し、令和元年5月に「国立市文化芸術推進基本計画」も策定した。

文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な財産であり、市民のかげがえのない文化遺産、歴史的財産として、次代の人々に引き継いでいくとともに、その活用も図られなければならない。谷保に江戸時代より建つ旧本田家住宅は、令和2年3月に東京都指定有形文化財に指定され、解体復原事業を進めている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・旧本田家住宅の活用に向け、自治会や観光まちづくり協会等、各種団体にヒアリングを行った結果、その希少性から文化財として保存を優先に考えるべき、南部地域における観光資源として積極的に活用すべき、といったように様々な意見が寄せられた。

・「Play Me I'm Yours」の復活を望む声がある。

・文化芸術推進基本計画に掲載されている「文化芸術情報の一元的な発信」を検討・実施すべきとの声がある。

(3) この施策に関して他自治体の取組状況と比較して国立市の取組状況はどうか？

・国立市は市域面積に比べ、貴重な文化財も多いとともに、近年、緑川東遺跡から出土した大形石棒が重要文化財に指定されたり、旧本田家住宅が東京都指定有形文化財に指定されたりなど、動きも多い。また、旧本田家住宅の解体復原事業に取り組んでいるなど、取り組みも積極的である。

(4) 施策の具体的な取組状況

6年度の取組状況	7年度の取組予定
・くにたち文化・スポーツ振興財団等と共に「くにたちアートプロジェクト」の実施 ・市民が文化芸術とつながる機会を充実させる「文化芸術振興補助金」の交付 ・文化芸術推進会議の開催 ・旧本田家住宅復原工事・便益施設工事 ・緑川東遺跡石棒附土器展示ケースの製作 ・文化財ウィーク参加、郷土誌フェア参加、文化財防火デー実施 ・文化財保護審議会の開催 ・文化財保護助成金の交付 ・文化財指定(都指定・市指定)に向けた取り組み ・届出を受けての埋蔵文化財の確認・調査 ・市民グループ等が自ら実践する文化・芸術活動の研鑽、発表、市民やグループとの交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供した。施設全体の年間利用率は65.2%。 ・銅版画作家を講師に招き、初心者に向けた銅版画の連続講座を実施した。講座終了後、参加者による作品展覧会を公民館1階市民交流ロビーにて開催した。展覧会実施に際しては、プレス機を使用した紙版画の体験ワークショップを開催した。 ・大学教員による「怪談・妖怪」をテーマとした近世絵画や風俗などに関する講演会を開催。また、美術館学芸員を講師とした日本の動物絵画史に関する講演会を開催。 ・市民参加の実行委員会形式による、第69回くにたち市民文化祭を開催(期間は令和6年10月12日～11月24日。公民館及び芸小ホール、福祉会館を会場)。23団体が参加。 ・財団支援(芸小・郷土館関係) ・芸術小ホール・郷土文化館の管理運営(指定管理)	・くにたち文化・スポーツ振興財団等と共に「くにたちアートプロジェクト」の実施 ・市民が文化芸術とつながる機会を充実させる「文化芸術振興補助金」の交付、次年度に向けた評価・検討 ・文化芸術推進会議の開催 ・旧本田家住宅復原工事・便益施設工事 ・旧本田家住宅展示設計 ・文化財ウィーク参加、郷土誌フェア参加、文化財防火デー実施 ・文化財保護審議会の開催 ・文化財保護助成金の交付 ・文化財指定(都指定・市指定)に向けた取り組み ・届出を受けての埋蔵文化財の確認・調査 ・市民グループ等が自ら実践する文化・芸術活動の研鑽、発表、市民やグループとの交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供する。 ・銅版画作家を講師とした初心者向けの銅版画講座やプレス機を使用した紙版画の体験講座を実施する。講座参加者による作品発表の展覧会を開催する。 ・文化・芸術に親しむための講座を実施する。 ・第70回くにたち市民文化祭を開催する。 ・財団支援(芸小・郷土館関係) ・FSXホール(芸小ホール)・郷土文化館の管理運営(指定管理)

6 6年度の評価結果 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)※基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績
○文化・芸術を育める環境整備 ・芸小ホール各室を提供し、市民の文化芸術活動や発表の場として使用された。 ・市民や団体自らが実践する文化・芸術活動や発表、交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供した。 ・初心者を対象とした連続講座「初めての銅版画」を実施。完成した作品を公民科市民交流ロビーにて展示発表した。 また、小学生も含めた版画体験ワークショップ「版画を作ってみよう！」を実施した。 ○文化・芸術を通じたにぎわい溢れるまちづくり ・くにたちアートプロジェクト ・「文化芸術振興補助金」の交付 ・芸小ホール事業(公共ホール音楽活性化事業(小学校でのアウトリーチ)、くにたち富士見台ものがたり等) ・市民グループ等が自ら実践する文化・芸術活動の研鑽、発表、市民やグループとの交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供した。施設全体の年間利用率は65.2%。 ・市民参加の実行委員会形式による、第69回くにたち市民文化祭を開催した。継続参加の団体の他、新たに参加する団体もあり、相互に交流する機会を設けるなど、 ・銅版画作家を講師に招き、初心者に向けた銅版画の連続講座を実施し、講座参加者による作品発表の展示会を開催すると同時に、プレス機を使用した版画体験ワークショップを実施し、市民に文化芸術に関する実技の学習を提供した。 ・大学教員による「怪談・妖怪」をテーマとした近世絵画や風俗などに関する講演会や、美術館学芸員を講師とした日本の動物絵画史に関する講演会を開催し、文化芸術に関する講座を提供した。 ○歴史・文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 ・旧本田家住宅主屋復原工事、便益施設工事を通じ、旧本田家住宅を後世に残す。 ・郷土文化館事業(企画展「石を彫る くにたちの彫刻家 關敏の仕事」等) ・郷土文化館各室を提供し、市民の文化活動や発表(展示)の場として使用された。 ・文化財ウィーク・郷土誌フェア等を通じ、文化財の活用や情報発信を行った。 ・文化財防火デーを実施し、文化財保存に向けた意識を高めた
○改善余地のある事項・課題等
○文化・芸術を育める環境整備 及び ○文化・芸術を通じたにぎわい溢れるまちづくり ・文化芸術基本計画に基づく事業の実現 ・コロナ禍の影響で参加団体が減少していた市民文化祭には、新たな参加団体も加え、令和5年度と同程度の23の市民グループが参加した。引き続き新たな参加団体が増えるよう工夫していく。「市民文化祭」は令和7年度には70回を迎えるが、公民館を中心とした発表イベントに収まっているので、市域全域に広く呼びかけ、市域全体で開催されるイベントとなるよう検証を重ねる。 ○歴史・文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 ・旧本田家住宅復原工事実施設計及び復原工事に伴う各種調整、利活用方法の検討

(2) 施策の6年度における総合評価

B	成果実績数値の評価(A～E)に、4(3)及び6(1)の定性的要素を加味した評価 A: 目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。 B: 一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。 C: 成果向上のため、一層の努力が求められる。 D: 成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。 E: 現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。
---	---

7 施策の課題・今後の方向性 ※必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 8年度の取組方針

・市民が文化芸術とつながる機会を充実させる「文化芸術振興補助金」の交付。 ・旧本田家住宅の復原工事を完了させ、開館する。 ・市民や団体自らが実践する文化・芸術活動や発表、交流等が行いやすいよう、公民館の各室を提供する。 ・文化・芸術に親しむための講座を実施する。 ・第71回くにたち市民文化祭を開催すると共に、参加団体増加に向け働きかける。
--

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

・「文化芸術推進基本計画」に基づく事業展開を行う。 ・旧本田家住宅の復原後、市民に多く活用される施設となるよう管理・運営を行っていく。 ・「市民文化祭」は公民館中心のイベントとなっているが、当初の意義を踏まえ、市域全体に拡大できるよう検証する。
--